

## 大学とともに発展する京都の実現について

【担当省庁】内閣府、文部科学省、経済産業省

50 校近い大学が集積し、知の蓄積を持つ京都において、京都全体をキャンパス化し、学生同士や地域の住民、企業、研究機関、芸術家など、あらゆる人々が活発に交流・連携し、新たな価値を創造し続ける地域を実現するため、以下のとおり要望いたします。

### 「大学のまち・京都」の実現

- 京都府では、「大学のまち・京都」の実現のため、京都の大学と連携し、大学を核とした以下の取組を進めることとしており、国における「**地（知）の拠点整備事業（COC）**」（新規）について**十分な予算を確保**していただきたい。
  - ▶ 大学と地域との連携による地域公共人材の育成及び地域再生
  - ▶ 高大連携事業「ギャップイヤー」の推進
  - ▶ 大学に蓄積された科学技術や企業経営マネジメント等の研究成果について、再教育を通じて地域の企業等へ還元し、地域産業の技術・経営革新を促進
- 京都では、地域連携を通じた教育の質の向上の取組を行う「**大学間共同教育推進事業**」として、今年度以下の事業を採択いただき、**引き続き十分な予算を確保**していただきたい。
  - ▶ 「時代が求める新たな教養教育の京都三大学共同（モデル）推進事業」（代表校：京都府立大学）
  - ▶ 「地域資格制度による組織的な大学地域連携の構築と教育の現代化」（代表校：龍谷大学） 等
- 京都では、留学生 5 万人の実現などを目指し、**留学前・留学中・就職時の各段階で総合的な支援を実施**するなど具体的な戦略の構築に取り組んでおり、こうした取組を促進するため、以下の措置を講じていただきたい。
  - ▶ 「**留学生交流拠点整備事業**」において、**京都をモデル整備地域に選定**
  - ▶ 遊休行政資産を活用し、文化や慣習の違いが学べる京都らしい留学生受け入れ宿舍の整備等を促進するための事業メニューの拡充等

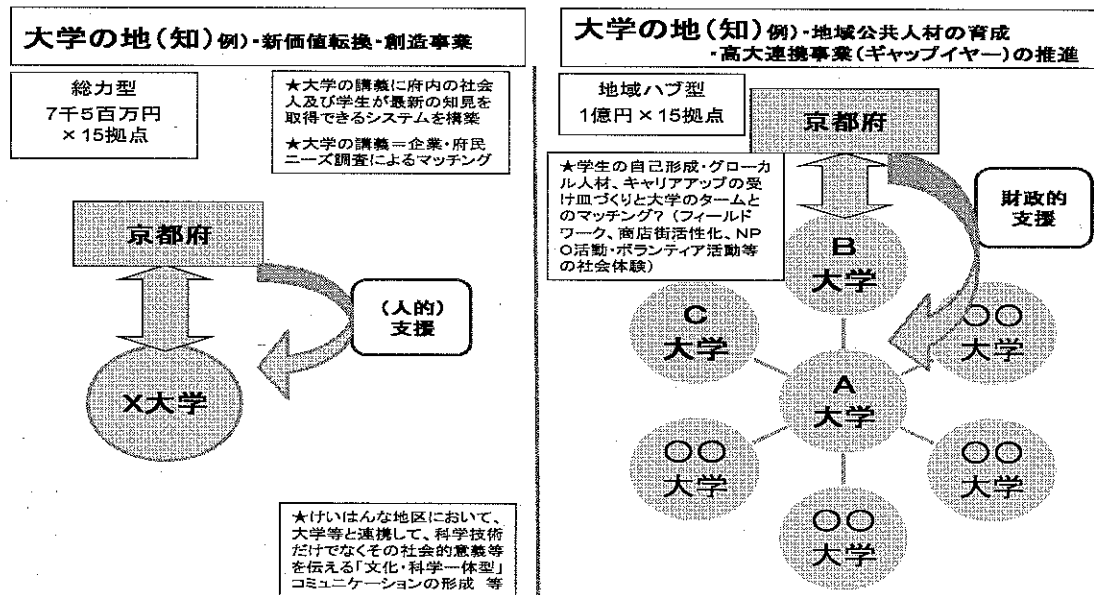
＜文部科学省の概算要求＞

- ◎地（知）の拠点整備事業（大学COC(Center of Community)事業（新規） 42億円  
大学等が自治体と組織的に連携し、地域再生や地域の課題の解決にあたる取組を支援する。（地域人材の育成・雇用機会の創出、産学連携・地場産業の振興等）
- ◎大学間連携共同教育推進事業 30億円  
国公私の設置形態を超え、地域や分野に応じて大学等が相互に連携し、社会の要請に応える共同の教育・質保証システムを構築する取組を支援する。
- ◎留学生交流拠点整備事業 0.96億円  
大学等が自治体等と連携し、地域の核となる国際交流拠点を整備して、留学生と日本人学生及び地域住民等との交流深めながら、留学生支援を行う。

京都府の現状・課題等

◆大学COC事業の検討状況

大学COC事業（イメージ）（全体調整中）



◆検討中の大学

- ・京都大学：地域ハブ型（1億円）
- ・京都府立大学：総力型（7,500万円）

◆留学前・在学中・就職の各段階での総合的支援

少子化・グローバル化が進展し、世界的に優秀な留学生や企業人材の獲得競争が激化している中、京都が世界の中で「大学のまち」「学問のまち」「学生のまち」として国際的に生き残っていくためには、日本人学生だけではなく、世界中から多くの優秀な留学生が集まる「人材育成・交流拠点・京都」となり、多様で豊富な「人財」を地域発展の原動力とすることが必要

- 海外での情報発信を強化し、京都の魅力を広く深く知ってもらう。
- 留学生との交流を促進し、地域や大学及び日本人学生の国際化を図る。
- 生活支援等により、京都での留学生生活をより充実したものにする。
- 産学公が連携した就職支援により、地域経済の活性化を図る。

<参考>

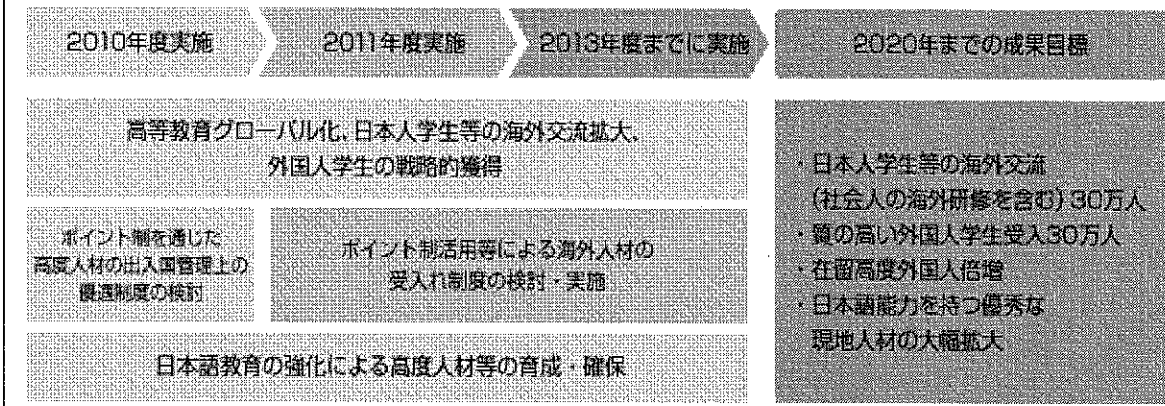
◆新成長戦略

～着実に歩みを進める「21の国家戦略プロジェクト」～(抜粋) H24.2 内閣官房国家戦略室

8. グローバル人材の育成と高度人材等の受入れ拡大

**あふれる「知恵」と「人材」を、世界と共有します**

- ・我が国の成長の牽引力となるべき「グローバル人材」の育成と、そのような人材が社会で十分に活用される仕組の構築を目指します。
- ・外国高度人材の受入れのためのポイント制（高度人材の特性に応じて学歴、職歴、年収などの項目ごとにポイントを設け、合計が一定点数に達した場合に高度人材と認定し、出入国管理上の優遇措置を付与）導入等を実施します。
- ・日本語教育の強化により高度人材等を育成・確保します。



◆ 京都の未来を考える懇話会 第一次提案（抜粋）平成 24 年 3 月 12 日

2. 大学のまち・京都

京都全体をキャンパス化し、学生同士や地域の住民、企業、研究機関、芸術家など、あらゆる人々が活発に交流・連携し、新たな価値を創造し続ける地域を実現し、世界中の学生や研究者を魅了する機能と環境を備えたまちをつくります。

- ✓ 大学ユートピア特区の設置（学生の交通料金の割引拡大、公的施設無料化や、税制の優遇措置による研究および起業の支援）
- ✓ リーディング大学院に代表される魅力的な学部・大学院教育の充実（融合領域の幅広い知識と実績のある、世界をリードする人材を輩出）
- ✓ 留学生5万人の実現（留学生の拠点施設・学生寮・奨学金・英語コース等の整備を行い、国際化を進める）

（京都の未来を考える懇話会構成メンバー）

- 山田 啓二（京都府知事）
- 門川 大作（京都市長）
- 立石 義雄（京都商工会議所会頭/京都商工会議所連合会会長）
- 松本 紘（京都大学総長）
- 柏原 康夫（京都府観光連盟会長/京都市観光協会会長）
- 池坊 由紀（華道家元池坊次期家元）
- 白石 方一（京都新聞社代表取締役会長兼社長）

【京都府の担当部局】

知事直轄組織	国際課	075-414-4311
政策企画部	戦略企画課	075-414-4334
府民生活部	府民力推進課	075-414-4211
文化環境部	府大学振興課	075-414-4525